



授業紹介 4年国語「熟語の意味」

学校公開が中止となりましたので、HPと紙面（該当クラス）にて授業を紹介します。

ぜひお子さんと、学校の様子や勉強についてお話してください。

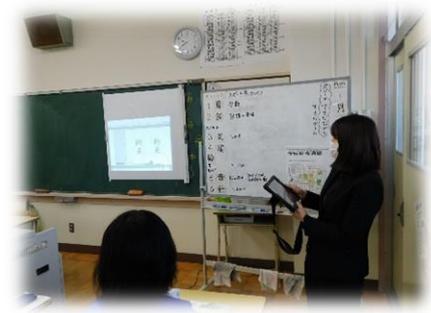


国語(下) P84「熟語の意味」第2時・・・漢字の組み合わせを手がかりに意味を考える

授業のはじめに、フラッシュカードで漢字の読み方の復習です。テンポを変えたり、リズムをつけたりして、集中して学習します。そのあと、「学習のめあて」をつかみます。

本時は、熟語の意味を、第1時の「訓読みを手がかりに考える」の次時で、「漢字の組み合わせで意味を考える」授業です。組み合わせのグループは、大きく4つに分けられます。

グループ分けを、提示したヒントの熟語で考えます。子どもたちは、すぐに「反対の意味を持つ熟語(高低、勝敗、売買)」と、「似た意味を持つ熟語(加入、岩石、消失)」を見つけました。そのあと、周りの人と話し合いながら、残りのグループ「上の漢字が下の漢字を修飾する熟語(前進、右折、最多)」「～を、～にあたる意味の漢字が下に来る熟語(読書、登山、着陸)」を考えました。<ここがむずかしく 少し時間がかかりました。>



タブレットに配付されたワークで、いくつかの熟語を4つのグループに分け、その熟語の意味を紙のプリントに書きます。



最後に、国語辞典や漢字ドリル、社会の資料から熟語を見つけ、その熟語が4つのグループのどれなのかを考えました。子どもたちは、真剣に思い思いの資料で熟語をさがします。みつけた熟語がどのグループなのか、組み合わせを考えました。そして見つけて考えた熟語の意味を、クイズにして、プロジェクターで提示し、みんなの前で発表しました。タブレット端末、紙のワークシート、そして国語辞典など、学習の手がかりをたくさん使いどの子も意欲的に取り組んでいました。担任も、熟語の意味を考えるのに、グループ分けしたり、クイズを作って出し合ったり工夫し、主体的に考えるよう支援した授業でした。子どもたちは緊張しながらも、よく考え、たいへんがんばっている姿が印象的でした。